

# ご存じですか！文化財

67

## 「寺子屋絵馬」

市指定有形文化財 平成22年3月15日指定



問合せ  
生涯学習課  
(☎0480・62・1223)



所在地 大越1984

大越地区徳性寺にある絵馬は、120cm×175cmの

大型の絵馬で右上に「文久四三八」（1864年3月8日）と製作年、右下に「溪斎北尾重光」と製作者の銘があります。構図は左に「奉納薬師如来」の幟を建てた本堂を描き、画面右には江戸時代の庶民を対象とした教育施設である寺子屋に使った庫裡で、寺子達が手習いをしている様子が大きく描かれています。

この絵馬には、女子が学ぶ様子も描かれていて、当時から女性への教育が行われていたことがわかります。また、住

職（師匠）が全体を統括し、商人などが助手となって寺子達に手ほどきを行うなど、寺子屋での教育の様子を知る貴重な資料です。絵師の北尾重光〔文化11（1814）年〜明治16（1883）年〕は江戸に生まれ、館林で店舗を構え数多くの幟や絵馬を描き、館林を始め近隣の社寺に数多く奉納されています。

絵師が群馬県館林を中心として活躍した北尾重光であることから、群馬県との絵馬の流通などを通じた経済圏をも知ることのできる貴重なものなのです。

